

春レク 花王(株)見学と和歌山市内観光

日時 : 2019年3月22日(金)～3月23日(土)
場所 : 和歌山市
スケジュール :

3月22日(金)

13:30 JR和歌山駅集合(中央改札口を出たところ)

13:30～13:50 JR和歌山駅発～花王(株)和歌山工場着

★花王(株)様 所有のマイクロバス利用

14:10～14:40 花王(株)概要説明

14:40～16:10 工場見学・エコラボミュージアム見学

16:30～17:20 工場発～有田研修所着

★花王(株)様 所有のマイクロバス利用

★1日目のみ参加の方は、タクシーを利用してJR和歌山駅に戻ります。

(タクシー料金は2,500円/台程度です)

⇒ 花王(株)有田研修所 (泊)

⇒ 18:30より宴会 22:00就寝

★食事代+宿泊費用(9,600円)を、宴会前に徴収します。

3月23日(土)

07:00～07:30 朝食

08:20～08:40 有田研修所～広川ビーチ駅

★花王(株)様 所有のマイクロバス利用

08:49～09:29 広川ビーチ駅～紀三井寺駅(鉄道紀和線,580円)

09:35～09:45 紀三井寺駅より、徒歩10分程度で紀三井寺到着

★2日目のみ参加する方は、9:20迄JR紀三井寺駅(改札口を出たところ)に集合して下さい。

09:45～11:25 紀三井寺(本堂、仏殿) 見学

★参拝料200円(70歳以上は100円)必要です。

★3月20日～4月20日は、桜祭りを開催しています。

11:25～11:30 紀三井寺～紀三井寺バス停(徒歩)

11:36発(約20分) 紀三井寺～和歌山城(市役所前で下車)(バス,390円)

⇒バスを下車し、徒歩5分で市役所14階到着

12:30～13:30 市役所14階で昼食(バイキング方式-1,382円)

昼食場所名:14階農園(12:30より入れます。1時間制限の入替制です。)

陽射しがたっぷり差し込む明るい空間で和歌山市の絶景を見ながら食事ができます。メニューは豊富で、ドリンク・デザートもあります。

13:30～13:35 市役所～和歌山城(徒歩)

13:35～15:40 和歌山城、紅葉溪庭園、和歌山市観光土産センター 見学

★和歌山城の天守閣入場料410円必要です。

15:43発(約14分)和歌山城(市役所前で乗車)～JR和歌山駅(バス,230円)

16:00 JR和歌山駅解散

★ご要望があれば、有志による小宴*(予算2,000円程度)を開催します。

*MIO地下北入口 居酒屋“城”(出るとすぐに改札口があります)

次ページより、見学場所を紹介します。

①花王(株)和歌山工場～エコラボミュージアム

和歌山工場とエコラボミュージアムは、セットで見学コースとなっています。
年間約1万人が見学されています。

●和歌山工場：

洗濯用洗剤の充填、箱詰めなどの生産ラインを見学します。
花王(株)最大の工場です(従業員3,000名、敷地49万㎡)
家庭用洗剤、石鹼を製造しています。
産業用資材も生産し、研究所も併設されています。
殆ど機械化され、また工場内は大変きれいです。

●エコラボミュージアム：

地球温暖化の状況や花王(株)の環境に対する取り組みや考え方
などの映像を視聴します。
花王製品がたどるプロセス毎に分かれた5つのブースを
巡っていただきます。

①(原材料を)選ぶ ②(製品を)作る ③運ぶ ④使う ⑤捨てる
花王(株)様のご厚意により、工場見学の方にお土産を用意
していただけるそうです！



エコラボミュージアムの
ウェルカムシアターです。

②花王(株)有田研修所

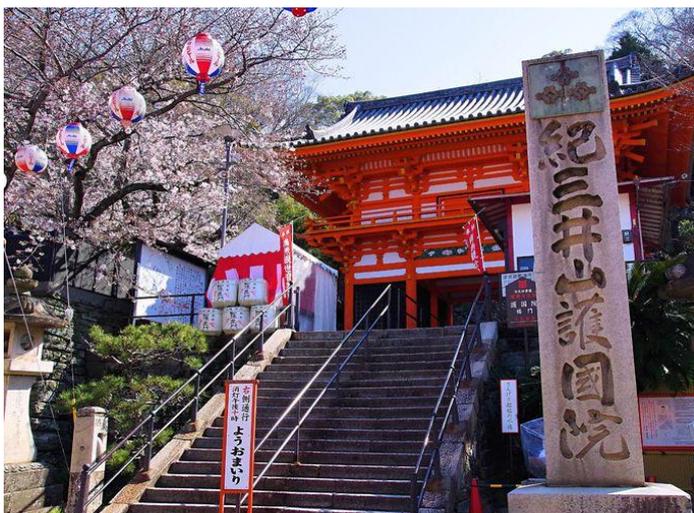
美味しい懐石料理をご堪能して下さい。
会社の研修所なので、格安で宿泊できます。
料理やお酒も安いです。カラオケもあります。
部屋は洋室中心ですが、家族も宿泊できるように
2部屋(10畳)用意します。
★歯ブラシセットはないのでご持参下さい(フロントで購入できます)。



有田研修所です。

③紀三井寺

桜門



表参道からの参詣は、朱色が鮮やかな楼門の存在感あふれる姿に目を奪われます。欄間の彫刻や金剛力士像も見どころです。

境内



桜門を抜け、231段と長い石段を登った先にある紀三井寺は、770年唐の僧である為光上人によって開基されました。山内に湧く三井水(吉祥水・清浄水・楊柳水)が、紀三井寺の名の由来とされています。

たくさんの仏像がまつられています。早咲き桜の名所であり、境内には約500本の桜の木が植えられています。1990年には日本さくらの名所百選に選出され、桜まつり(3月20日～4月20日)時には、多くの人でにぎわいます。境内からのぞむ和歌浦の景色は絶景です。

大千手十一面観音菩薩像



高さ12メートル、重さ約30トンの金色に輝く巨大な観音像。その迫力に圧倒されます！
寄木造の木造立像としては、日本最大級の総漆金箔張大千手十一面観世音菩薩像。観音様の手と五色のお手綱でつながる五鈷杵に触れれば、慈悲深い観音様の功德に授かれます。展望料100円で3階展望回廊へとあがれば、観音像のお顔を正面で拝めます。

④和歌山城



豊臣秀吉の弟秀長より築城されました。こんもりと緑茂る虎伏山(とらふすやま)に白亜の天守閣がそびえ、御三家(尾張、紀州、水戸)の威容にふさわしい風格を醸し出しています。和歌山城の石垣には、紀州特産の青石(緑泥片岩)が多く使われ、和歌山に来たことを実感させてくれます。天守閣に登れば、和歌山市街が見渡せ、紀ノ川がゆったり流れているのが見えます。白亜の三層の大天守閣は、堂々とした姿が美しい。天然記念物の大楠や重要文化財に指定されている岡口門、内部には徳川家ゆかりの品が多数展示されています。



⑤紅葉溪庭園



和歌山城の西側に位置する、風雅な庭園です。

池は山すそから湧き出る泉を利用して作られ、池の中央には舟の形をした「御舟石」があり、堀の水面には「鳶魚閣」が浮かんでいます。鯉がのどかに泳いでいて、目を楽しませてくれます。また数寄屋造りの茶室「紅松庵」からの庭園の眺めは四季を通じてすばらしい。紅葉の眺めはもちろん、四季折々に趣のある風景を鑑賞できる雅趣豊かな庭園です。江戸時代には、西の丸御殿と繋がっていた斜め廊下「御橋廊下」は、全国的にもめずらしく、是非訪れたいところです。

⑥和歌山市観光土産センター



和歌山城の西の丸の駐車場にあります。
わかやま歴史館の、1階部分です。
いろいろなお土産が、そろっています。